

No.2956

2020-2021年度

会 長 橋爪 誠治
幹 事 井上 修平
R広報委員長 菅原 佳典



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020

創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



ロータリーは
機会の扉を開く

2020-2021年度クラブ方針

自制心と結束力を繋ぐ理解のハーモニー
「学ぶLearning・感じFeeling・動くMoving」



本日のプログラム

令和2年11月19日 第2957回

- ・会員卓話：中村 吉伸 君
「新型コロナウイルス感染症」
- ・ソング：「四つのテスト」

次回のお知らせ

令和2年12月3日 第2958回

- ・クラブフォーラム
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第2956回例会）

開催日 令和2年11月12日(木)

点 鐘 (橋爪(誠)君)

ゲストの紹介 (川口親睦活動委員長)

ゲスト：任 泰然 君(米山奨学生)

米山奨学金授与



橋爪(誠) 会長より
任泰然君に
11月の米山奨学金が授与さ
れました。

ニコニコ箱の報告 (上野山(栄)SAA)

橋爪(誠)君：前期IDM、児嶋正人リーダー、福原リーダー
発表よろしくお願いいたします。

井上君：児嶋さん、福原さん、IDM発表お願いします。

上野山(捷)君：IDMの発表ご苦労様です。

橋爪(正)君：IDMの発表、リーダーの方々のご苦労さまで
す。早退させていただきます。

脇村君：IDMの発表、ご苦労さまです。よろしくお願いいたします。

中村君：前期IDM発表よろしくお願いいたします。皆様、
インフルエンザワクチンの接種はお済みですか？

松村君：前期IDM発表よろしくお願いいたします。

中元君：本日の前期IDMの発表よろしくお願いいたします。

出席報告 (上野山(捷)例会運営委員)

本日の会員数29名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数28名

(出席規定免除会員9名)

会長の時間 (橋爪(誠)会長)

「もうすぐ冬ですねえ」

ちょっと気を付けてみませんか？」

世界的、日本国内において新型コロナウィルスの感染者増加のニュースが多く流れています。日本においては11月から3月までの気温が下がる時期は気を引き締めて感染症対策をし、日常生活を送りましょう。

我々ロータリアンはニュースで聞くような、新型コロナウイルスに感染した方々への偏見は持たないように願います。新型コロナウイルスにかかる方が悪いわけではありません。これだけはお互いに理解し合いましょう。かかりたくてかかる方はいません。



有識者の中村先生には、大変お世話になっております。医師の見地より知識と情報共有をして下さり、感染症対策を練って頂き本当にありがとうございます。

有識者のご意見をもとに理事会にはかり、慎重に例会開催の決定をしていきたいと思っております。

例会の歩みは止めないように、前期IDMでの皆様会員のお言葉を参考にして、会員の皆様のご意見を大切に、無理のない例会運営を心掛けてまいります。

経済活動の維持と感染症の戦いは矛盾だらけかもしれませんが、試練に立ち向かい最善を尽くすためのヒントとなる、矛盾を題材にした名言を一緒に感じて下さい。ご紹介いたします。

○マーティン・ルーサー・キング・ジュニア(牧師)

人の真価がわかるのは喜びに包まれている瞬間ではなく、試練や矛盾に立ち向かうときに示す態度である

○ヘンリー・ミラー(小説家)

あらゆる出来事は、もしそれが意味を持つとすれば、それは矛盾を含んでいるからである。

○大林宣彦(映画監督)

世の中はいつの時代も矛盾に満ちています。

特に若い人たちは矛盾に敏感ですが、そこから逃げてはいけません。

その矛盾に立ち向かってこそ、自分の人生を作ることができるんです。

○オーギュスト・コント(仏国の哲学者)

人間とは、パラドックスの体现であり、矛盾の塊である

矛盾は後ろ向きな言葉かもしれませんが、矛盾こそが人生の面白みかもしれません。生きるための経済(矛)、生きるための衛生・防御(盾)生きるためにどっちが大事でしょうか？ 答えはありません。ただ前向きに生きるために、生きるための工夫をするしかないと思います。

本日、配布させて頂いた感染症対策の中止条件も状況により変化させています。

感染症対策の観点から4月・5月ならば和歌山県1名だけでも例会をストップする状況でしたが、今現状は湯浅保健所管内での発生状況を見極めながらの判断をしようとする位まで、今回の新型コロナウイルスへの防衛反応が、恐怖から適応力へシフトがなされていると信じています。

油断は禁物ですので、特に寒い冬の時期は、例会のインターネット配信は続けていきながら会員の例会出席の選択方法を担保しながら、この冬の時期を過ごしていきたいと思っております。今一度、個人が出来る感染症対策、マスク、手洗い、うがい等を徹底しながら元気に冬を越しましょう！

幹事報告 (井上幹事)

- 1、藤井ガバナーより、公式訪問のお礼状が届く
- 2、第7回臨時理事会開催 12日以降の例会開催条件について



3、第5回定例理事会開催のお知らせ

4、例会変更は後方に掲示しています

ロータリー友誼 (山口R広報委員)

【横組】

P17 三輪たんぼ保存プロジェクト

長野女子高IACの地域活動の一つとして、長野市三輪地区で、かつて「三輪たんぼ」と呼ばれ盛んだった稲作を復活させることで(現存する水田は1反=300坪のみ)、地域の伝統を守り、町づくりにもつなげようという取り組みが紹介されています。学校駐車場の空きスペース3坪を開墾、3kgを収穫。



P18 どうなった？ 例会

新型コロナの影響に関するアンケート調査結果(回答1,247件)。

例会休会97%(休会開始時期は3月上旬が多い)、例会再開98%(再開時期は6月上旬が多い)、通常と異なる会合形式(オンライン、DVD配布等)で再開37%、新型コロナ収束後もオンライン例会開催47%。

【縦組】

P4 世界で活躍する人材 ロータリー平和センター

国際基督教大学(ICU)に設置されているロータリー平和センターでは、どんな活動をしているか、世界で活躍する人材を育てていく上でいかに意味があるのか、について紹介されています。

センターの正式名称は「平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー平和センター」で、2002年に設置され、第1期生のフェローを受け入れました。フェローは2年間大学院に在学し、平和研究の修士号をとります。フェローの受け入れ人数は年間10人前後になります。フェローの出身国や年齢層は様々で、日本人の大学生とも一緒に学び、各人の国際経験や職業経験を若者とシェアしているので、一般の学生にとっても貴重な機会となっています。

P13 卓話の泉 色彩の効果

色彩がひとに及ぼす効果が紹介されています。

ヘレン・ケラーは、色の違いを認識できたといわれています。

ある実験では、目隠しをして赤い部屋に入ると体温、血圧ともに上昇し、青い部屋に入ると下がり、筋肉がリラックスしたといえます。目を開けて赤い部屋に入ると時間を長く感じ、青い部屋では時間を短く感じるという実験結果もあります。

ファストフード店では短時間でもゆっくり食べたと感じるように赤色を、会議室や単調な作業を繰り返す部屋では、長時間滞在しても集中力を高められるように青色を取り入れたりしています。

P21 ロータリーアットワーク

病院へのサーモカメラや自動体温測定装置の寄贈が紹介されています。

委員会報告

※地区立法案検討委員会 開催について(松村会長エレクト)

地区立法案検討委員会が11月7日和歌山市で開催された。地区大会に替わる選挙人会議であった。

審議事項は2件

- 1、2019-2020年度地区財務報告採択の件
- 2、ガバナーノミニー(2023-2024年度ガバナー)選出方法採択の件

どちらも満場一致で採択されました。

前期IDMの発表

2020-2021年度 前期IDM

テーマ

会員が思う

①「コロナ禍のクラブ運営について」

会員皆様の運営についての意見

②「一般会計の扱いについて」

コロナ禍でクラブ運営にて余剰金が発生した場合の扱いについてのご意見

- ・コロナが県内、市内で出たときは厳しい対応が必要
- テーマ②は「コロナ禍の一般会計の扱いについて」
- ・一般会計が残るのは今のところ未定ですが色々な事業が中止の方向に進んでいくと考えると予算が余ると思われる
- ・インターネット配信で経費が余分にかかる
- ・去年は現在の会員が負担したお金は現在の会員に返そうとの話になっている
- ・現在までの事務経費、事務局員経費の削減の経緯説明
- ・会員に返すより単年度予算なので寄付としての扱いがいいのではないかな
- ・後期になって、大まかな金額が把握できるようになったら改めて考慮しましょう
- ・寄付はニコニコ会計に組み込んでの決算になる
- ・予算が余るようであれば、何か面白い例会が開催できないか模索してほしい
- ・人員の配置などが今は乱雑になっている
- ・会場設置、人員配置は各委員会が開催できつつある中で相談を促す

〈所感〉

*「コロナ禍のクラブ運営について」についてはコロナ禍の中、出来る事から運営を進めて行くしかないように思います。

*「コロナ禍の一般会計の扱いについて」については決算状況が分かりづらいため後期IDMあたりでもう一度考慮してはどうかと思います。

【第1班】



リーダー
児嶋 正人 君

開催日時:2020年10月14日(水) 18:30~19:30

開催場所:橘家

第1班:児嶋正人(リーダー)、北畑貴行(サブリーダー)、松村秀一(情報・研修委員)、成川守彦(情報・研修委員)、橋爪誠治(会長)、菅原佳典、橋爪正芳、宮井清明、木本隆昭、上野山捷身、丸山芳孝、岩本道弘、上野山栄作 以上13名(敬称略)

テーマ①は「コロナ禍のクラブ運営について」

- ・そろそろ通常例会を始めてはどうか
- ・例会に出席して親睦を図りたい
- ・例会は色々工夫を凝らしてやって頂いています(会場参加、ZOOM、DVD)
- ・コロナ対策は非常によくやっていると思います
- ・インターネット例会は再考の必要があるかも
- ・ニコニコ箱、弁当の時は衛生の気を付けた方がいいと思う
- ・会場、ZOOMの様子を見ながら続けるのがいいと思う
- ・例会会場では全員の食事はまだ早いのでは
- ・コロナ禍では安全を一番に考慮して活動をする

【第2班】



リーダー
福原 陽司 君

開催日時:2020年10月15日(水) 18:30~19:30

開催場所:橘家

第1班:福原陽司(リーダー)、嶋田恵(サブリーダー)、中元耕一郎(情報・研修委員長)、橋爪誠治(会長)、中村吉伸、脇村重徳、石垣泰伸、大塚美晴、岩橋行伸、井上修平、児島良宗、川口健太郎 以上12名(敬称略)

中元情報研修委員長より率直な意見を出し合いクラブ繁栄に生かしていきましょう。という言葉で始まりました。

テーマ①会員が思うコロナ禍のクラブ運営について

インターネット例会と会場例会の運営について
まずは皆さんから出た言葉はインターネットに携わって頂いた方々へのお礼と労いの言葉でした。

各意見

- ・通常例会・インターネット例会共に必要である。
- ・成果が出ているのではないかな?

- ・お陰様で休会せず例会に参加できている。
- ・YouTubeでいつでも見れる、聞き直せる。ありがたい。
- ・コロナに対しての不安感から、会場に来れない人には必要。

不都合な意見

- ・一方通行になってしまう。
- ・モチベーションが落ち、会場に来てこそ出席であるという意見もございました。
- ・通常例会になればYouTubeはやめるべきである。
- ・会場例会時のネット配信はやめるべきである。会場参加が減るのでは？

橋爪会長より「face to faceは必要であると思いますし例会を開催する判断基準を定め、安全第一の運営を行っていくことが必要である。」と述べられました。

テーマ②コロナ禍の一般会計の扱いについて

本年度最終余剰金が発生するか未確定ですが年会費削減に充てるのであれば、使い切る、貯めておくと言う様々な意見があり、どう使っていくか活用方法を意見していただきました。

- ・貯めておいて次年度に繰り越す。
- ・会員の人数が減り、先行き不安なので、体力を残すためにも次年度へ繰り越す。
- ・OA機器など普段購入できないものを購入し使い切る。
- ・30万円以上あるなら、各自に返金(年会費を削減)する。
- ・飲食業が低迷しているので出来る限り使ってあげる。

以上の意見で終了致しました。

閉会・点鐘

(橋爪(誠)会長)

次週
11月26日は
休会です



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

日程	12月の例会プログラム
12/3(木)	クラブフォーラム
12/10(木)	年次総会
12/17(木)	外部卓話（ZOOM開催） 中谷竜也実行委員長 石井理恵実行委員 （認知症と共に生きるまちづくり実行委員会）
12/24(木)	前期活動報告 （SAA・理事のみ）
12/31(木)	休会